



環境学習施設の つくり方

—地域に多面的価値を創出する施設—

施設運営に関する特別編

【第1編】運営資源（地域の特産素材）の発掘
環境学習施設研究部会・事務所
鈴木 榮一



を発掘するノウハウをご紹介します。
（予定・第2編「地域特産ならでは
の素材の活かし方」、第3編「地域
特産素材活用レシピの紹介」）

地域特産の運営資源の重要性

廃棄物処理施設は、施設見学のみならず幅広く環境学習に資することが期待されています。近年、さらに地域ニーズにも対応することが求められています。（※注・環境省「地域に多面的価値を創出する廃棄物処理施設整備の促進」。もとより施設にとって地域との関わりは重要です。施設運営の最初の一步は、地域を知り、地域のニーズを知ることであると一言でも過言ではありません。しっかりと地域に目をこらせば、地域ならではのユニークで独特（特産）な運営資源が見つかるはずで

地域の運営資源とは

ひとくちに環境学習と言っても、地球規模的な課題はどこか遠くの問題と感じますが、地域の課題なら我が事として関心が高まる上に、身近な環境問題として理解しやすいはず。施設の立地が山地や河川・沿

岸といった郊外地帯であれば、自然の豊かさを活かして生物多様性への学習などに活用が期待できます。工場地帯や商業地帯であれば企業や商店街との連携も視野に入ります。また住宅地帯であれば、アクセスの良さから集客性や地域人材にも期待できます。逆に、自然が豊かな場所では鳥獣害、生産地では廃棄物という課題もありますが、それら地域の課題も、施設運営の大切なヒントになります。

例えば、地域交通系企業から廃棄物処理について相談を受けて大学の授業に活用したり（写真1・国崎クリーンセンター啓発施設ゆめほたる）、地域での困りごとを抱える地域活動団体と企業をつないだり（写真2・豊田市環境学習施設エコツト）という事例のように、地域課題の解決へ向けた支援が少しでもできれば、地域とのつながりがぐっと強く深くなります。

このように地域の運営資源は、その地域特有の環境から個性あふれる物産や人材そしてさまざまな地域課題も含め、施設がその活用から解決にいたるまで、運営として関わることでできる、施設の運営玉手箱とも言えるリソースです。



【写真1】地域企業との連携（国崎クリーンセンター啓発施設ゆめほたる）

また、地域ならではの環境特性や課題を軸に、環境学習プログラムや学校教育向けの副読本への展開を図る等、地域の特性や課題は、重要な運営資源と言えます。

運営者の関心と地域関係

筆者らの全国の施設調査（2020年鈴木榮一・浅利美鈴）では、意外なことに地域関係が良い施設ほど地域連携に関心が低い傾向が見ら



【写真2】環境活動マッチング事業（豊田市環境学習施設エコット）

れました。この結果を示したところ、ある施設運営責任者から「地域連携の難しさを示しているのではなか」とのご意見をいただきました。

地域連携は即席にできることではなく、丁寧に時間をかけて地域と共に試行錯誤し、その中で得られるものです。難しい反面、良好な地域関係

性を十分に発揮することができません。運営者が第一にすることは、地域に足を運び、地域と交流して施設を知ってもらうという、施設に来てもらうための努力が欠かせません。

があります。相互理解を深めるためには、十分な話し合いを行い、その内容が固まった段階において、地域の皆さんと運営者の間で約束を取り交わす（覚え書き等）というルールづくりも必要になります。

が構築できれば、さまざまな地域特産プログラムメニューを生み出すことも可能になり、時にはさまざまなシーンで助けられることもありま

筆者の経験ですが、フリーマーケットでユニークな手づくり作品を出店された地域の方と出会い、その方に講師になっていただき大評判のワークショップが誕生したケースもあります。地域の宝は運営の中から

を取り交わす等です。これらは万々に備えた対策とも言えますが、相互の意思確認としての役割を果たすよい機会になります。今回は、素材（運営資源等）の活かし方をご紹介します。（環境学習施設研究部会）

地域の運営資源の見つけ方

一概に、施設運営は来場者を受け入れるところから業務がはじまると考えがちですが、本質的に運営業務は来場者に来ていただくための仕掛けづくりからはじまっています。来場者を待つだけ（受け身）の施設運営では、施設が持つ可能

も見いだせません。

おわりに（地域との結びつきにルールも必須）

地域特産とも言える人々と出会い、幅広く環境学習プログラムや事業展開に発展していくことは望ましいことですが、その過程においてスムーズな意思疎通も忘れてはなりません。地域の皆さんの熱い思いはともすれば、過大な期待に膨らみ、現実の事業展開に失望されたり、約束が違うとクレームを言われたりする可能性

●連絡先●

環境学習施設研究部会

(https://www.facebook.com/facilities.env.edu.888/?locale=ja_JP)

「環境学習施設研究部会」で検索すると、（一社）廃棄物資源循環学会環境学習施設研究部会のページがでてきます。同部会がfacebookの「環境学習施設を考える会」も運営しています。